

令和６年度 第３回旭川市社会教育委員会議 議事録

日時	令和７年２月１４日（金）午後６時００分～７時１０分
場所	旭川市総合庁舎７階 大会議室Ｂ
出席者（委員）	岩永委員，大橋委員，金本委員，工藤委員，郡司委員，斉藤委員，佐藤委員，鈴木委員，中島委員，猫山委員，野上委員，濱中委員
出席者（職員）	佐藤社会教育部長，田島文化ホール整備担当部長，岩崎社会教育部次長，主藤社会教育部次長，登野社会教育部次長，熊澤社会教育部主幹，小島社会教育課主幹，坂本文化振興課長，吉川文化ホール担当課長，松里公民館事業課長，矢萩博物館長，大塚社会教育課主査，山崎社会教育課主査，伊藤社会教育課職員，矢萩社会教育課職員
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
会議資料	第３回会議次第 資料１ 令和７年度教育予算（案）社会教育部関係分について 資料２ 社会教育関係団体等への補助金交付に係る令和６年度中間報告と令和７年度の予定について

会議要旨

１ 開会

２ 社会教育部長挨拶

３ 議事

（１）令和７年度教育予算（案）社会教育部関係について

議長	はじめに，令和７年度教育予算（案）社会教育部関係について，事務局から説明願う。
事務局	（資料１に基づき説明）
議長	ただいまの説明について，意見や質問はあるか。
委員	第２回会議の後，様々な研修等を案内いただき参加することができた，感謝する。 こうほう旭川市民「あさひばし」に，令和７年１月１日現在の旭川市に在籍する外国人の人数が１，９１４人と載っており，１０年前の７００人程度と比較して増えている。

	旭川市では外国人がどれくらいいて、どのような活動をしているか実態を把握しているか。また、外国人に対する社会教育に関し、どのような取組を行っているか。 令和7年度予算案を見ると各種施設改修費が増額となっている。具体的にどここの改修なのか。
事務局	外国人の人数・活動について、実際の活動については統計もなく、把握できていない。 外国人に対する社会教育については、これまで外国人からの社会教育に関する問合せは多くないが、問合せがあった際には適切に対応を行っている。 また、都市交流課の窓口でも様々な問合せへの対応を行っている。
委員	北海道教育委員会でも、外国人に対する社会教育について様々な取組がされているので、旭川市教育委員会でも何か取組があると良いと思う。
事務局	次に、施設改修費の増額については、蛍光灯が2027年末に生産・輸入が禁止になるため各施設のLED化が急務となっており、科学館、クリスタルホールの音楽堂・大会議室、東鷹栖公民館・末広公民館のLED化などで増額。
議長	蛍光管は身近だがお金もかかるし難しい問題。 外国人については、少し長い目で見たときに、国の問題として考えていかなくてはいけない。いろいろな場面で意見交換していきたい。 他に意見や質問はあるか。
委員	次年度の予算について、公民館事業活動費、文化会館自主文化事業費の減額、中原悌二郎賞関係費の増額の理由を教えてほしい。
事務局	公民館事業活動費は、事業の見直しにより、会計年度任用職員が1名減となったため、人件費が減額となっている。
事務局	文化会館自主文化事業費については、令和6年度は文化会館の開館50周年記念行事のため増加しており、次年度は、これまでどおりの事業に戻るため減額となっている。
事務局	中原悌二郎賞関係費については、第33回から2年に1度の開催としており、次年度は開催年となるため増額となっている。
委員	令和7年度予算案について、各事業が目ごとに並んでいないが何か理由はあるか。 施設改修などハード面の増額の話があったが、野外彫刻等のソフト面も重要である。野外彫刻管理費が減額となっており、急な改修等には対応しきれないと思うが、積立基金のようなものは用意されている

	のか。
事務局	令和7年度予算案の事業費は、款項目の順ではなく、事業コード順のため。
事務局	野外彫刻の管理については、現状前年度より予算額は減っているが、危険性のあるものなどについては順次補修を行っており、緊急度合に応じて、年度途中で予算措置の対応をしており、文化芸術振興基金の活用も可能である。
委員	年度途中でも補修等していただけるのはありがたい。 事業費の並びについては、広く市民の目にも止まるものなので、可能な範囲で事業コードの掲載もお願いしたい。
議長	他に意見や質問はあるか。
委員	公民館事業等の講師の謝金について、金額が低いという声も聞こえてくるが、どの程度の頻度で見直しを行っているか。
事務局	講師謝金は現在、1時間当たり3,000円の基準であり、少し低いかもしれないが、ボランティア的に携わっていただいている部分もある。 長い間この金額であるが、事業費も縮減されている現状において増額は厳しいので、民間連携における無料講師を活用する等、費用をかけず内容の充実を図っていく考えである。
委員	事業の質が低下しないよう、取組をお願いする。
議長	他に質問や意見はないか。 なければ、次の報告に進む。

3 報告

(1) 社会教育関係団体等への補助金交付に係る令和6年度中間報告と令和7年度の予定について

議長	次に、社会教育関係団体への補助金交付に係る令和6年度実績と令和7年度の予定について、事務局から説明願う。
事務局	(資料2に基づき説明)
議長	ただいまの説明について、質問・意見等はないか。
委員	「社会教育・文化芸術事業補助金の予算額、決算額の推移」について、各年度、予算額に対して決算額が少ないが、これは応募がなかったということか。
事務局	お見込みのとおり。 特に令和2、3年度は、コロナ禍で活動が困難であった。
委員	令和6年度「家庭教育事業及び社会教育事業」のみ、決算額が予算

	額を上回っているが、流用などの仕組みはあるのか。
事務局	当該補助金は「家庭教育事業及び社会教育事業」と「文化芸術事業」を併せた額で予算を確保しているため、全体事業の範囲で交付決定している。
委員	2 ページ、「旭川市文化芸術関係全国大会遠征補助金」について、自身の学校でも活用させていただき、子ども達の全国での活躍にもつながっている。 PTA 会費の値上げなども厳しい中で、こうした支援は大変ありがたい。
議長	PTA の関係については、全国的にも課題が多い。 旭川市でも何か課題等見えてきている部分はあるか。各委員にも状況をお聞きしたい。
委員	全国では解散等の様々な課題も聞くが、市内の高校においては、PTA 活動が活発に行われており、多くの支援をいただいている。
委員	昨今、共働きの家庭が多く、PTA 離れの話も聞くが、市内の小中学校は生徒数が減っている。自身の PTA では、PTA 会費はコロナ禍で減少したが、現在コロナ禍以前の水準に戻ってきている。 生徒数が減り、活動も限られるので、予算が掛からないように工夫しながら活動を行っている。
議長	地域学校協働活動は、何か PTA と関わりを持って進めているか。
事務局	地域学校協働活動のモデル地域の学校においても、PTA の方にコーディネーターを担っていただくなど、様々な面で連携している。
委員	自身の PTA 活動の中でも、教育委員会に講師派遣を依頼するなど連携を図っており、子ども達も喜んでいた。
議長	PTA は、子ども達との関わりも多く、社会教育関係団体でも核となる団体。様々な工夫をしながら、全国にも発信できるような活動を進めていきたい。

4 その他

議長	その他について、何か質問や意見はあるか。
委員	クリスタルホールや、市民文化会館など、各施設が相当老朽化している。 建替えや補修の話が出ていたが、他市町村では財政難により施設の建替えが一時凍結される等のニュースもあった。旭川市は大丈夫か。
事務局	社会教育施設に限らず、市内各施設の老朽化の時期が重なっている。

	政策の優先順位や建設年度の整理, PFI 等様々な方法を総合的に検討し, 計画的な実施に努めていく考えである。
委員	自身の所属する地域まちづくり推進協議会では, 制服の譲渡を行っている。値段も高く, 購入するのも大変なので, とても喜ばれている。 中学生の制服について, 市内統一の制服があると, こうした譲り合いもスムーズで, ごみの削減にもつながると思うが, なかなか進まない。 制服は各学校単位で決めているのか。
副議長	各校で決めている。 過去には統一の動きがあったようだが, 現在, セーラー服のジャンバースカートが熱中症対策に向かないといったことや, LGBTQ の観点から, 制服にも多様性が求められている。 毎日私服だと, かえってお金がかかるといった声もある。学校ごとに検討をしている制服の統一化は, 現場の状況とは逆行してしまう印象がある。
議長	制服は学校ごとに決めるが, 現在コミュニティスクールなどで地域の声を学校に生かす取組が進められている。 地域から学校に要望を出したり, 近隣の地域で協力したりすることで, この問題にも取り組んでいけると良いと思う。
議長	他に何か意見等はあるか。 なければこれで議事を終了する。 今年度の会議はこれで最後となるが, 次年度も様々な研修等に足を運び, 社会教育委員として, 行政により良い提言をしていけるよう努めていけたらと思う。

5 閉会